



MITSUKOSHI
三越劇場

〒100-0001 東京都中央区日本橋室町1-4-1
日本橋三越本店本館6階

樋口一葉の世界 2023



鶴澤賀寿(義太夫三味線)



内藤真代(箏)



本間豊堂(尺八)



奥山眞佐子ひとり芝居 「うもれ木」



成瀬誠志《上絵金彩人物図花瓶(一対)》
明治時代前期 岐阜県現代陶芸美術館蔵

◎日時： 2023年10月14日(土) 午後3時開演(午後2時半開場)

◎料金： 6,000円(全席指定・税込)

◎ご予約・お問合せ： 三越劇場 お電話 0120-03-9354(午前10時～午後6時)

<http://mitsukoshi.mistore.jp/bunka/theater/>

ご予約・前売開始は8月16日(水)午前10時

(前売初日はお電話・インターネット予約のみ)

イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン・スマホ)

企画制作：いちまるよん

<http://www.okuyama104.com/>

～ 物語 ～

腕があるのに世に埋もれ、赤貧の生活を送る薩摩焼の絵付師・入江籟三、その兄を助け家計をきりもりしている無二の妹のお蝶。籟三に海外博覧会への出品をすすめるべく登場する籟三のかつての相弟子・篠原辰雄。

籟三が精根傾けた百花これより乱れ咲く台付龍耳の花瓶一对が完成した時、お蝶の心は辰雄の虜となって……

～奥山は尺八を相手役に「籟三」を、箏の音と共に「お蝶」を演じ、
花瓶完成後の籟三の無念を義太夫で語る～

三越劇場13年目公演は、20歳の一葉さんが次兄の虎之助(薩摩焼の絵付師)をモデルに書いたと言われる作品。その虎之助の師匠・成瀬誠志の花瓶(チラシ表)が岐阜県現代陶芸美術館を皮切りに巡回。公演前後、三井記念美術館「超絶技巧、未来へ! 明治工芸とそのDNA」(9月12日～11月26日)でご覧いただけます。

「樋口一葉の世界2023奥山眞佐子ひとり芝居・うもれ木」の舞台と共に、是非お立ち寄りください。(奥山 眞佐子)

脚本：英次ともゑ 演出：鈴木龍男 所作指導：花柳奈千穂 美術：佐々波雅子
照明：須藤実 義太夫作曲：鶴澤賀寿 口上：竹本越里 箏作曲：小二田茂幸
床山：武川卓男 美粧：浅利悦子 制作：川上よう子 舞台監督：稲元洋平
チラシ・ポスター：飛澤伸彦



原作：樋口一葉 (東京生まれ。両親は現在の山梨県甲州市塩山出身)

当時の考え方「女子にながく学問をさせなんは、ゆくゆくのためよろしからず」により進学できず。その後、歌塾「萩の舎」にて教養を身に付けて日本初の女性職業作家と好評を得るが、1896(明治29)年11月23日 24歳で旅立つ。2004年、五千円紙幣の肖像の人に。



奥山眞佐子 (山梨県甲府市出身。文教大学文芸科卒)

ホームページ：<http://www.okuyama104.com/>

樋口一葉の原文に少々の注釈や工夫を加えた脚本と、生演奏との共演による「ひとり芝居」公演は、黙読では得がたい魅力的な世界と好評を得る。

樋口一葉の世界26年目の今年は、一葉が愛する義太夫への初挑戦。

一葉生誕 140 周年NHK「視点論点」で、樋口一葉への想いを語る。

*受賞：御園座社長賞／細うで繁盛記賞／山人会・第 33 回前田晁文化賞

つるざわかず 鶴澤賀寿(大阪府出身)

義太夫教室
第 48 期修了
平成 9 年竹本駒之助に
入門
16 年義太夫協会
新人奨励賞



ないとう みちよ 内藤眞代(福井県出身)

福井県文化協議会
新人賞受賞
NHK邦楽技能者育成会
第46期
大久保スタジオM中心に
活動



ほんま とよたか 本間豊堂(東京生まれ)

「本間豊堂の尺八徹底音
出し実験室」を月刊邦
楽ジャーナルに連載す
る
YouTube「ホンマの尺
八教室」配信



協力：文教大学学園 / 文京区 法真寺 / 甲州市 常泉寺 / 鎌倉市 鐮木清方記念美術館 / 一葉記念館 / 岐阜県現代陶芸美術館 / 三井記念美術館 / 本郷図書館 / 鷗外記念館 / 銀座屋上ギャラリー 枝香庵 / 京都&鎌倉 伊と彦 / 文京区 喫茶ルオー / かまくら駅前蔵書室 / 新宿あいうえお / 大久保スタジオM

企画制作：いちまるよん 〒221-0834 横浜市神奈川区台町 11-25-203 e-mail:info@okuyama104.com

「参政権を持つもののすべてに、平和で平等な社会をつくる義務と責任があると、私は思うのです」市川房枝「この言葉の歴史を伝えたい。奥山真佐子

～ 樋口一葉作「十三夜」の主人公・お関が、「夫の機嫌を整えるのが妻のつとめなり」と耐え忍んだ大日本帝国憲法の時代、女性には、なんの権利もありませんでした～
「権利の上に眠るな」～市川房枝と婦選運動の歩みをなぜいま舞台化するのか 一大森真紀

| 論座 | 朝日新聞社の言論サイト (asahi.com)

『戦後対策婦人委員会申し合わせ案』

- 一、20歳以上の婦人に選挙権、25歳以上の婦人に被選挙権を与えること
- 二、貴族院令の改正に際して、男子と同等の選挙権・被選挙権を与えること
- 三、男子と同等の資格で、公民権を与えること
- 四、治安警察法を改定し、婦人の政治結社への参加を認めること
- 五、文官任用令を改定して、各行政機関への婦人の参加を認め、婦人に関係深き事項を担当させること

昭和20年9月11日作成

当時は女性のことを、婦人と呼んでいました

私達が今、手にしている参政権、平等の権利を獲得するまでには、145年前からの歴史があります。1878年「義務と権利は両立するのが物の道理、選挙権がないガヤツラ金輪際税金も納めん」と、楠瀬喜多は訴え、金子みすゞが自殺した1930年、市川房枝、村岡花子、久布白落実、矢嶋楯子と謝野晶子、平塚らいてう、山田わからは、女性参政権を獲得するための全国大会を開催。ピラ配り、署名活動など、さまざまな方法で一步ずつ訴え続けたのです。

そして、「戦後対策婦人委員会申し合わせ案」を1945年9月11日作成し、政府に申し入れました。その結果、1945年10月10日幣原喜重郎内閣の初閣議で婦人参政権が決定。1947年5月3日現在の日本国憲法が施行されて、すべての国民は法の下に平等の権利を手にしたのです。女性が政治に参加する権利、すべての国民が平等の権利を得るためにご苦労くださった先人のみなさまのあゆみ、積み重ねられた歴史があったればこそ「今がある」ことを噛みしめていただける本です。

表紙

市川房枝 生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～ 普選、婦選、そして18歳～

鎌倉たらば書房（電話：0467-22-2492）で販売中です。

FAX またはメールでお申込みいただけましたらご郵送いたします。

《2,000円(本体)+200円(税金)+180円(スマートレター)》

FAX: 0467-24-1900

メール: info@okuyama104.com



市川房枝生誕130年を前に

権利の上に眠るな

～ 普選、婦選、そして18歳～

奥山真佐子



いらまろよん

表紙カバー画: ひらたやすひこ

子どもたちの学ぶ権利、生きる権利のために、宮城まり子氏が1968年に設立した日本最初の肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」の画集『ねむの木学園こども美術館』に収められている作品より

「ねむの木学園」ねむの木村 |

静岡県掛川市 |

nemunoki.or.jp



女性の方 記念式典の司会を務めます奥山真佐子からのご案内

皆さんご存知のように、NHK朝の連続テレビ小説「花子とアン」やまなし言葉指導を担当いたしました私は、村岡花子さんの生涯を学び、花子さんが、市川房枝さんと共に、女性の参政権を獲得するために尽力なされたことを学びました。

1945年8月15日の玉音放送の10日後に、市川房枝さんは、村岡花子さん久布白落実さんと共に「戦後対策婦人委員会」を立ち上げられて、男性と同等の権利を政府に要求したのです。

私は、この歴史を、紀伊國屋ホールで公演するための脚本を書き、市川房枝役を演じました。嬉しいことに満席の皆さまから、ご好評をいただき「脚本を読みたい」という御要望をいただきました。

そこで、私の愛する樋口一葉さんがら歳の時、高知県の楠瀬喜多さんが訴えた「女ヤキ、投票でキンラアテおかしやありませんか」から始まる女性が政治に参加できるまでの「脚本形式の歴史書」を出版いたしました。

ぜひ、ご一読いただきたくご案内申し上げます。

奥山真佐子

..... FAX:0467-24-1900.....

- *ご注文は、FAXでお送りください。本とお振り込み先をお送りいたします。
- *メールをご利用の方は、info@okuyama104.com をご利用ください。
- *お電話をご利用の方は、いちまるよん 045-290-5877
(留守番電話の場合は、折り返しご連絡いたします)

お名前		
ご住所	〒 _____	
お電話	(_____) - (_____) - (_____)	
発行:いちまるよん(有) 著者:奥山真佐子 2,000円+(税)	市川房枝生誕 130年を前に 権利の上に眠るな ~普選、婦選、そして18歳~	_____冊